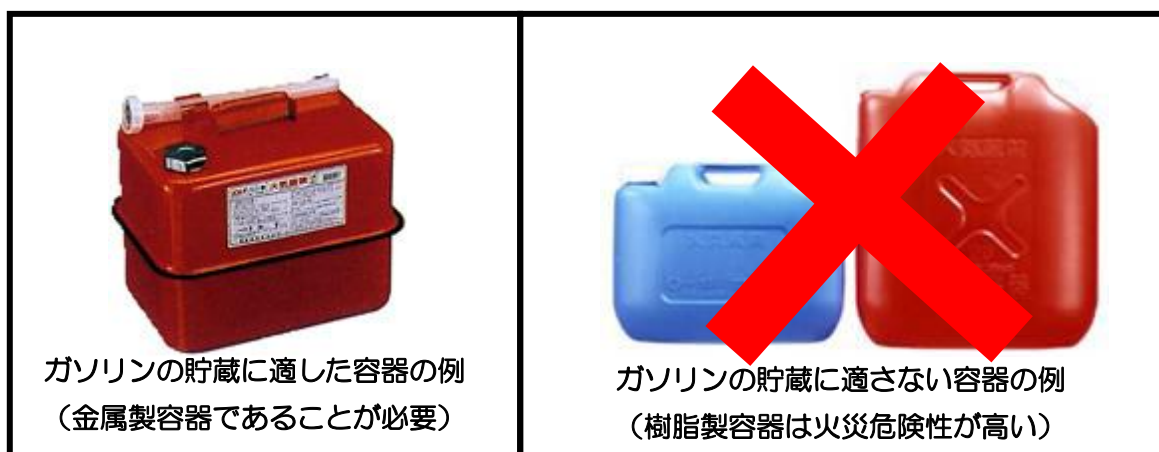
イベント会場等における火気取扱い注意事項

ガソリン携行缶の取扱い

１．ガソリンを入れる容器は、金属製の容器でなければいけません。
２．直射日光があたる場所や、車内等での保管は大変危険です。
３．携行缶の取扱いの際には、開口前の圧力調整弁の操作等取扱説明書等に書かれた容器の操作方法に従い、こぼれ・あふれ等がないよう細心の注意を払い開口してください。
※　ガソリンは非常に引火しやすく、また、気化したガソリンは爆発して事故を引き起こすおそれがあります。

ガソリンの貯蔵に適した容器の例
（金属製容器であることが必要）

ガソリンの貯蔵に適さない容器の例
（樹脂製容器は火災危険性が高い）

発電機の取扱い

１．風通しの良い地面に置く。
２．まわりに物を置かない。
３．物を載せない。
４．給油時は、エンジンを停止する。

プロパンガスボンベの取扱い

１．ボンベは転倒防止のため、平らな場所に置き、必ず固定してください。
２．ボンベは火気から離して置いてください。
３．ゴムホースにキズやひび割等がないか点検し、しっかりと取り付けてください。

その他

１．消火器をすぐに使える場所に設置してください。
２．消火栓や防火水槽の周囲に、消防用の活動空地を確保してください。

お問い合わせ先：海津市消防本部　予防課
ＴＥＬ　０５８４−５３−０１１９